

CO₂吸着剤及び反応促進剤

二酸化炭素を吸着したまま、アミン類との反応に用いることができる！

概要

大気中あるいは、排ガス中の低濃度CO₂を有用化学品製造に利用する為には、CO₂を圧縮・精製する必要があった。当該手法ではコストとエネルギー消費が大きく、化学品メーカー等が積極的に活用するには大きな障壁があった。本発明はチタンジルコニウム酸化物のポーラス体がCO₂を常温・低圧で吸着すること、及び吸着させたまま化学反応におけるCO₂供給源として利用できることに着目した、金属酸化物およびその用途の発明である。

応用例

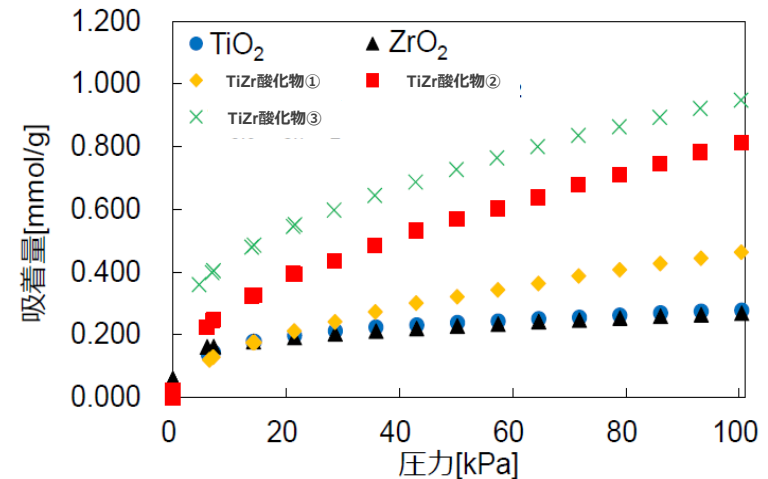
- 有用化合物（エチレン尿素等）の合成促進剤

知的財産データ

知財関連番号 : PCT/JP2023/028442
 発明者 : 吉岡 敏明、亀田 知人、富重 圭一、福島 康裕、藪下 瑞帆、廣森 浩祐、鈴木 佑京
 整理番号 : T22-004



性能・特徴等



関連文献

※論文投稿中

お問い合わせ



株式会社東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049

お問い合わせフォームは[こちら](#)

本資料をダウンロード



お問い合わせ

<https://www.t-technoarch.co.jp/contact.html>



発明案件を随時更新中

<https://www.t-technoarch.co.jp/anken.php>



LinkedIn ページをフォロー

<https://www.linkedin.com/company/tohoku-techno-arch>



Leading you to Successful Industrialization



株式会社

東北テクノアーチ

TOHOKU TECHNO ARCH